



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラク：米・イラク間の米軍撤退に関する協定締結 (11月17 19日付現地報道)

1. 16日、政府は臨時閣議において「イラクからの米軍撤退及びイラクでの米軍の一時的な駐留期間における同軍の活動を規制するイラク及び米国間の協定案」及び「政治、外交、文化、保健、環境分野での協力と友好及び経済とエネルギー分野での協力の原則を強化する両国間の枠組協定案」を出席した閣僚28名のうち1名を除く賛成多数で承認した。
2. 同協定によって、米軍は条件によらず2011年12月31日までに撤退する。同期日は、限定された最終期日である。
3. 2009年1月1日をもって、領空管轄権がイラクに戻るとともに、周波数もイラクが管理することになる。米軍による家宅搜索や家屋の破壊についてもイラクの裁判所が発行する礼状とイラク治安部隊の協議なくして実施されなくなる。イラクに入ってくる米軍の全ての貨物は必要に応じてイラク側の検査を受けるようになる。
4. 米軍施設に収容されている身柄拘束者の扱いについては、身柄はイラク側に引き渡され、イラクの法廷において、無罪と判断されれば釈放される。有罪が確定されれば判決が下されることになる。